

## 2023年 PTA人権教育 実践研修講座①



◆講師 NPO法人CAPプロジェクトおかやま  
代表理事 山下 明美 氏 ほか

◆タイトル 自らの力で生きていく子どもに育つ  
ために～今、おとなにできること～

◆日時 ①幼児期・学童期 編  
6月27日(火)10時～12時30分

◆開催場所 岡山ふれあいセンター

※講師のCAPプロジェクトおかやまのCAP(キャップ)とは、Child(子ども)  
Assault(暴力)Prevention(防止)の略で、子どもが様々な暴力から自分の心  
とからだを守る暴力防止のための予防教育プログラムです。今回はその中の大人  
向けプログラムによる参加型の研修を行いました。

### 【講座①幼児期・学童期編 概要】

幼児・学童期の子どもはどのように感じているのかを疑似体験しました。ぶか  
ぶかの軍手をした手で、紙にシールを貼ったり、利き手でない方の手で鏡を見な  
がらうさぎを描いたりする活動を通して、大人の私たちが“当たり前”にできること  
と、子どもができることの違いに驚くとともに、声のかけ方一つで、安心したり気持  
ちが焦ったりすることを実感しました。

続いて、発達段階によって異なる子どもからの発信と受け手の応答の仕方につ  
いて、具体的に教えてもらいました。この繰り返しによりアタッチメント(愛着)が形  
成されます。例えば、0歳児が泣いてニーズ(思い)を発信した場合、受け手の大人  
は話しかけたり抱っこしたりして、子どものニーズ(思い)に応えます。これを繰り返  
すことで、子どもは困った時「SOSを出す」と助けてもらえる!ということ覚え、人  
を信じる力やSOSを出す力を身に付けていくのだそうです。ただ、100%子どもの  
ニーズに応えることは難しく、「今は無理!」ということも多いですが、子どもの要望  
の3回に1回は応えるようにしたら良いのではという講師の先生の言葉に安心しま  
した。

### 参加者の感想

子どもの目線になって  
ワークショップを体験  
して、子どもに対して  
の接し方を考えさせら  
れる内容で、とても良  
かった。  
「あんしん・じしん・  
じゆう」の話を聞いて、  
「はっ」とすることが  
多くありました。

子どもの関わり方、声  
掛けがいかにも子  
どもに影響を与えて  
いるかという事に  
気付きました。  
時々、振り返って  
いきたいと思います。  
3回に1回を目指  
して子どもの話を  
聞いてみようと思  
います。

山下さんの優しい語  
りに引き込まれてい  
き、この居場所こそ  
「あんしん」できる  
場であり、ワークシ  
ョップをしていく中  
で「じしん」が  
ついたように思え  
ました。  
今後も参加してみ  
たいと思える内容  
でした。

## 2023年 PTA人権教育 実践研修講座②



◆講師 NPO法人CAPプロジェクトおかやま  
代表理事 山下 明美 氏 ほか

◆タイトル 自らの力で生きていく子どもに育つ  
ために～今、おとなにできること～

◆日時 ②思春期編  
7月12日(水)10時～12時30分

◆開催場所 岡山ふれあいセンター

※講師のCAPプロジェクトおかやまのCAP(キャップ)とは、Child(子ども)  
Assault(暴力)Prevention(防止)の略で、子どもが様々な暴力から自分の  
心とからだを守る暴力防止のための予防教育プログラムです。今回はその中の  
大人向けプログラムによる**参加型の研修**を行いました。

### 【講座②思春期編 概要】

周りの大人の関わり方と子どもが身に付ける力を発達段階別に学びました。思春期になると‘他者視点’が生まれ、自分の事以外にも相手の事や周りの目を意識し始め、人生のモデルを探し、自分で様々なことを決めることができるようになっていきます。対応が少し難しくなる時期でもあり、こちらの言うことを聞かなかったり反抗的な態度を取られたりすると、つい押さえつけるような物言いになってしまうことがあります。それは、子どもの自立・自律を阻害し、押さえつけてでも自分の思いを通せばいいという手本を見せることにもなります。子どもの思いを受け止め、そのままをまず認める。そして、意見の違いは話し合いながら落としどころを見つけていったり、必要があれば提案したりする。その丁寧な関わりが、子どもにとって信じられているという安心感となり、他者を信じ、困った時にSOSを出せる、本当の意味での自立・自律へ繋がっていくのだということを共有しました。

### 参加者の感想

子育てを振り返る良い機会になりました。子どもの話を聴く時間をしっかりと作りたいと思いました。子育てをする時に、子どもの「安心・自信・自由」を大切にしていこうと心新たにしました。

子どもとの関わり方が日々手探りの中、とても勉強になる話でした。悪いことをしたら叱りますが、どうしてこうなったのかという理由や本心を聞く事が大切だということがわかりました。

ワークショップの内容がとてもわかりやすく、子どもの気持ちを考える時間が持てたことが自分の子育てを振り返るためにもとても良かったと思います。小さな事からほめていきたいと思います。

## 2023年 PTA人権教育 実践研修講座③④



※③④は同じ内容の研修です。

- ◆講師 NPOえんばわめんと堺/ES  
代表理事 北野 真由美 氏
- ◆タイトル “聴く”からはじめる子どものコミュニケーション～子どもの人権尊重より～
- ◆日時 ③7月5日(水)10時～12時  
④7月5日(水)13時30分～15時30分
- ◆開催場所 岡山ふれあいセンター

### 【講座③④ 概要】

この研修講座は「共に考えていく」という参加型(ワークショップ形式)で進められました。まず、一枚の写真を見て気付いたことや感じたことを出しました。各々の感じ方についてなぜ、そのように感じるのかということと無意識に自分の体験や経験したことを結び付けているからだそうです。私たちのものの見方や考え方は、自分の体験や経験に基づいたものであり、一人ひとり違って当たり前ですが、違っている部分に関心を持ち、お互いを認めていくことの大切さを共有しました。

“お互いを認め合う”という観点から、子どもを一人の人間として大切にしているのか、ということを確認するために「子どもならOK?大人ならOK?」というワークショップを行いました。例えば『親が子どもの机の中を勝手に見るのは』、『夫婦間で相手の携帯電話を勝手に見るのは』といった設問がいくつかあり、一つ一つ考えていきました。その中で、「大人同士だったら、一言相手に許可を取るよね。子どもに対しても同じじゃない。」といった気づきが受講者から出されました。大人の力を子どもに間違っ使用と、支配やコントロールに繋がる恐れがあります。自身の感情(気持ち)のコントロールが、子どもとの接し方にも影響するとともに、自分の気持ちと上手につき合うことは自分も相手も大事にすることになり、相手の気持ちを共感的に聴くことで安心感が生まれ、信頼関係を築くことができることを学びました。

### 参加者の感想

自分の子育てを振り返り、尊重していませんでした。今日から子どもに寄り添って一緒に考えようと思いました。子どもを一人の人間として声を聴くようにしていきたいです。

子どもの人権について勉強になっただけでなく、普段の子育ての中でもとても参考になることばかりだったので、参加してよかったなと思いました。子どものためになるいい研修講座でした。

日常の会話で、自分が何気なく子どもの人権を侵害していた事に驚愕しました。「あなたの為だから」を掲げて、子どもの気持ちではなく、自分がただ安心するために、じわじわと傷つけていた事に気づきました。

2023年  
PTA人権教育  
実践研修講座⑤



- ◆講師 NPOえんぱわめんと堺/ES  
代表理事 北野 真由美 氏
- ◆タイトル 子どものからだところを守る性とは？  
～子どもの人権尊重より～
- ◆日時 ⑤7月6日(水)10時～12時
- ◆開催場所 岡山ふれあいセンター

【講座⑤ 概要】

講義のスタイルではなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で学び合ったり創り出したりする、双方向の交流による学びと創造のスタイル(ワークショップ形式)で行われました。

境界線とは、自分と他者の間にある「安心だと感じる」と「不安だと感じる」の境目のことです。人間関係を築く上でお互いが安全で心地よく過ごせるよう、「体の境界線」と「心の境界線」を守っていく事が大切だということを隣席の人とのワークを通して体験しました。「自分の体はじぶんのもの」「私の気持ちはわたしのもの」ということも性の視点から考えることができ、子育てをしていく上でもとても参考になる内容でした。現在も思春期の子どもを育てられている北野先生ならではのエピソードもありました。苦労の日常や、その中で感じる喜びなどを聞いて涙ぐむ参加者もいらっしゃいました。

参加者の感想

「子どもと性の関わり方」についてどのようにならよいか参考になりました。私の身体は私のもので、これから成長していく我が子たちが相手に合わせすぎず、自分は自分だと表現できるように声をかけていきます。目、耳、心で子どもの話を聴いていきます。

性教育とは、性の知識を教えるだけでなく、生活の中の一つとして教えるということをはじめて知りました。子どものことを尊重し、伴走するつもりでつき合っていきたいと思いました。

性に対する考え方のみでなく、怒りに対する考え方についてもとても勉強になりました。我が子に対してつい束縛したり決めつけた感情で接したりしてしまうことが多いので「言える雰囲気」「信頼関係」を築けるようにしていきたいと思っています。